

2017 桑高 PTA 地区懇談会のまとめ

2017/7/26

陵成・光陵・成徳・正和 グループ①

(保護者)

- ・入学して、本当に勉強についていくのが大変そうである。課題の多さに驚いている。早く、中学校までの生活リズムから脱皮して、桑高の生活リズムについて行けるよう慣れてほしい。

(教師)

- ・課題をこなすことにより、基礎学力の定着や学習習慣をつけてほしい。3年生になったら入試に対応する力をつけさせたい。自分の生活リズムが作れるように、保護者の方はサポートしていただけるとありがたい。

(保護者)

- ・部活中心の生活をしている。塾に行く時間はないので、基本的には部活と自宅での勉強で頑張っている。テスト期間中でも、部活の基礎練習があるので、課題やテスト勉強をする時間の確保が大変そうである。一日の時間の見通しを持ち、自分で軽重の比率を考えて、効率的に勉強ができるようになってほしいと、親は願っている。

(卒業生の子を持つ保護者)

- ・部活は大変だが、しっかりと部活と勉強を両立させ、人間関係を構築することは、大学以降の就職活動やその後のその子の生活において大きく生きてくる。夜、だらだらと勉強しているだけでいいのか、効率的な時間の使い方を考えさせることも、後々の社会生活で必要になる。受験には、体力も必要。

(保護者)

- ・進路について、何がやりたいのか、まだ本人は何も考えることができない。進路選択について、親は何を助言したらいいのか分からない。

(卒業生の子を持つ保護者)

- ・偏差値の高い大学でも構わないので、今はとりあえずいくつか大学の学部まで目標を掲げさせてみる。『大学を意識させる』ことが目的。大学を意識することでイメージを持つことができ、そこに至るまでの自分の進む道を考えることができる。
- ・本人にやる気がないとなにもできないから、本人に任せ、本人に決めさせていく。親は、体調面・お弁当・食事・駅までの迎えなど、できることで支援をしながら子どもの様子を見守って携わっていく。

(保護者)

- ・朝、起きるのが本当に苦手なで困っている。

(保護者)

- ・先生のお話にもあったように、子どもが朝起きられないことに手を焼いている親は多いが、勉強だけでできればいいのではなく、社会生活がきちんと送れるように、自分で起きられるようにしていくことも必要。本人に頑張らせていきたい。

朝、起きられないからと言って朝食抜きは絶対によくない。最低限の睡眠時間は確保し、きちんと朝食・排便をして送り出せるようにしたい。

陵成・光陵・成徳・正和 グループ②

(1年生保護者)

- ・部活(吹奏楽)が大好きで野球部の応援を楽しみにしている。
- ・授業の教室移動でとても忙しい。
- ・勉強と部活の両立が難しそうで入部しなかった。
- ・お弁当を食べる時間がなく残してきたりする。係を引き受けて忙しい。
- ・配布物の整理ができていない。
- ・兄ふたりを見て入学してきたのでやる気満々。部活に入り、夜は塾に通ってる。
- ・課題もこなして頑張ってる。
- ・父親は今の時期、存在価値がないような気がしたりする。母親への感謝の気持ちは多い。(父親の見解)

(2年生保護者)

- ・志望校が決まったばかり。見守っていきたい。

(3年生)

- ・受験に向けて頑張っている。
- ・上に兄弟がいるが、また受験がきたという感じ。
- ・その子によって違うし本人ががんばるしかない。
- ・大学への色々な入学の方法を教えてください。

(卒業生保護者)

- ・桑高を志望したのは、部活の多さ。
- ・苦手な教科は再試。先生方のフォローが素晴らしい。
- ・自分の行きたい大学が決まっていたので親としてラクだった。
- ・受験は親子で一緒に戦う
- ・塾よりも授業を真剣に受けることが受験の合格につながる。

(教師)

- ・早く進路を決めた方が有利ともいうが、目標は難しい大学にして努力することが大

事。目標を低くするとそこで安心してしまう。三番、四番くらいまで志望校を決めておくのがいい。推薦などは要相談。

- ・1年生は文理選択が大事。興味関心と実力を考慮して決める。

陵成・光陵・成徳・正和 グループ③

- ・帰ったらすぐ寝てしまう。時間がなく、課題は写すしかない。
- ・時間がなく、部活と勉強の両立が大変。荷物の量がすごい。
- ・のんびりタイプなので、桑高のように課題を出しまくるやり方がうちの子にはあっている。
- ・学校生活は楽しそうで充実しているようだ。
- ・課題のシャワーは基礎体力作りのようなものだが、いつまでもそればかりではなく次に各個人が必要としている部分を伸ばしていく、応用力を身につけられるような柔軟な指導をしてほしい。
- ・解答を写してはいけないというが、写すことで覚えていくこともできる。特に数学は回答から学ぶことができる。
- ・学校、部活、勉強だけで終わっている。遊びに行っていない。
- ・部活後、アピタに寄ったり、大会後、みんなで遊びに行くこともある。
- ・学校からの配布物（プリント）が届かない。
- ・購買でパンや弁当を買えない。
- ・塾では学校の課題を使って教えてくれる。学校から直行している。
- ・塾は自習室を使えるからよい。

(教師)

- ・今はどこも課題の多い学校が多い。
- ・英語のウエイトが多く占めている。
- ・大切なこと、大事なことを的確に伝えられることが大事だと思っている。
- ・時間の使い方を自分で組み立てられることが大事。それによってできる子とできない子に2極化する。
- ・数学は時間がかかるので、最後にやった方がいいという先生もいる。
- ・宿題を出す塾は止めた方がよい。
- ・3年生の理、社は10月までに勉強が終わる。受けている模試の範囲はそれまでに学校で勉強が終わっている。

光風・陽和・明正・多度・長島・木曾岬 グループ①

①「塾について」

(保護者)

- ・自主的に勉強しているが塾も入りたいと思っている。
- ・塾に行っていたが効果は薄かった。
- ・1・2年生は、塾に通って今すぐ結果を出さなくても良いのでは？

(教師)

- ・学校としては、土曜課題、再試等で塾に通わずに結果が出せる体制がある。
- ・土曜課題の受講状況：1年250名、2年200名、3年180名
- ・データから3年生は塾を利用している子供もいる・
- ・学校で勉強できる環境は整っているが、後は本人のやる気次第。
- ・3年生は特に、勉強する時間を確保する為、TV・スマホはダメとルールを作る事。
- ・平日19:00まで3年生は学校で勉強できる 2年生は18:00まで。
- ・土曜開放、卒業生の質問会あり。

②「進路、将来について」

(保護者)

- ・上の子と比べない様になっています。
- ・学校によって進路指導が違う。戸惑いがある。
- ・子どもがどういう職業につきたいかわからない。

(教師)

- ・どういう職業に就きたいかはわからない生徒が一般的。
- ・医学・薬学系に関しては今からしっかり上位に入っておく必要がある。
- ・やりたい事や、進路について等、自分から先輩のアドバイスを受けている生徒もいる。
- ・大学編制があり学部選びが難しくなっています。説明会があるので受けて下さい。
- ・初めから推薦ねらいではなく、一般受験で合格する実力を付けましょう。
- ・浪人してでも難関校に！ 駿台？河合？などの相談もある。

光風・陽和・明正・多度・長島・木曾岬 グループ②

(保護者)

- ・2年生の時は中だるみもあったが、3年生になったら本人のペースで勉強を頑張っているの、お弁当作りをがんばっている。
- ・学校の事はわからないので、同じ中学校の保護者から聞かなければわからない。勉強がなければ最高だと言っている。勉強も学校生活も子ども任せにしている。
- ・中学校では宿題はそれほど無かったから、現在は課題と小テストに追われている状況である。

- ・毎日課題に追われているが、元気に通っている。勉強以外は楽しいようだ。
- ・最近時間の使い方がわかってきたようだ。(1年生)
- ・部活のために課題をしている。居残りをしたくないから課題をがんばっている。
- ・1年生までは課題をがんばっていたが、2年生は居残りばかり。自転車通学からバス通学に変えたら子どものストレスが無くなった。
- ・学校の事を話さない。プリントも見せない。教材も買えているかが分からない。親相互のつながりは必要。
- ・忙しいと言う割には隙間時間が多い。
- ・勉強の時間配分ができていないのが心配な人が多いですね。うちの子はもっと要領よくすればいいのと思うことがある。

(保護者)

- ・子どもが朝起きれない。何か良い方法は。
- ・部活から帰宅後、寝て、朝早く起きて勉強をしている。
- ・2年主任のように「添い寝」の方法は有効かも。

(保護者)

- ・週末課題はいつ出る？
- ・週末課題は教科による。
- ・うちの子は週末課題を週末まで寝かせておいて日曜夜にまとめてするから不規則。
- ・いつするのか、どれだけ出ているのか親はわからない。
- ・わからない場合は「わからない」と書くと解説を丁寧に書いて返してくれる教科もある。
- ・解答を覚えてしまうのが一番効率がいいが、週末課題は解答がないので時間をかけて学習することに意味があり、それにより時間管理できるようになる。
- ・学校と塾との両立は生徒のタイプによってそれぞれ。
- ・桑名高校は課外授業や特講などのカリキュラムがあるので、本人の努力次第で塾は不要。
- ・勉強は学校にお任せして、子どもは学校では頑張っている分、家庭ではフォロー(支援)に徹する。
- ・課題、小テストの大変さを理解してあげることと、親が気持ちに余裕をもつと家庭でのフォローには良い。

いなべ・三四・その他 グループ①

- ・部活動、課題に追われながらも楽しく過ごしている。
- ・懇談会の参加で、保護者同士のつながりや学校の情報などの交換ができる。
- ・夏休み中の課題
- ・課題の未提出によって居残り→部活欠席

- ・定期テストは追試1回。追試は大学入試に向けた内容。
- ・塾について、学校との両立
- ・自習室の使用について
- ・通学の時間を利用して勉強に充てている。
- ・10時以降の夜間に帰宅するが、塾帰りなどは仕方がない。
- ・進学校であっても、部活動もしっかりと取り組んでいるところが当校の良い点。
- ・授業の合間に飲食、スマホOK。上手にコントロールして学習に臨む。
- ・スマホは、板書したものを撮るなど、学校生活や学習につながる様な工夫した使い方は、授業中以外の時間帯は校内使用OK。

いなべ・三泗・その他 グループ②

- ・夏休みの課外授業の参加状況はどうか
 - 参加希望者のみ。期間中に同じ講座を2回実施しているので、部活等と調整して可能な講座を受講すれば良い。予習及び復習時間を考えると、1日2講座までが適当である。
- ・子がテスト結果を親に見せないが。ときおり追試用紙を見かける。
 - 定期試験の追加は、1回のみ。
- ・ほかに小テストを実施しており、そのため毎週追試がある。クラスの半数の生徒が追試を受けることもある。各テストの平均点を上回るかということではなく、大学入試のレベルにまで実力を上げることを目標にしている。
- ・塾はどうか
 - 学校、塾のどっちつかずにならないように注意が必要である。
- ・電車通学であり通学に時間がかかる。学習時間について。
 - 電車内で英単語帳学習等が多い様子。
- ・子が朝6時起床で通学している。夜は0時就寝の目標にしており、6時間睡眠になるが実際は不明。
- ・学校部活動はどうか
 - 各クラブの状況は異なるが、2年で辞める部活もある。
 - 入試に体力は必要である。
- ・午後の授業中に眠気がくることを理由に息子が弁当を残してくる。
 - 3時限目休み時間等に、弁当を分けて食べてはどうか。
 - また、休憩時間中に眠気覚ましのガムを噛む等を含めて、問題ない。

衛生看護科

(1年生保護者)

- ・小さい頃から目指していた看護師になりたくて受験勉強をがんばり、衛生看護科に入学できてとても喜んでいて楽しく通っている。
- ・学力的に5年間やっていけるか不安。
→教師より 毎年2倍ぐらいの倍率の受験生の中から学力と面接で選ばれた方だから、心配しなくて大丈夫ですよ。
- ・部活に入り、看護科の子たちだけでなく普通科理数科の友達もできて喜んでいる。
- ・桑高体験講座に参加した時に、桑高生がキラキラしていて感動した。

(3年生保護者)

- ・年々、レポートなど大変にはなってきたが、部活と両立して楽しくやっている。部活も看護科の勉強も友達と切磋琢磨しながら競い合ってお互いを高めて頑張っている。友達ありがたい存在。

(専攻科1年生保護者)

- ・制服も変わり、学校での実習も増え、普段の生活も引き締まったように感じ成長した気がする。

(教師)

- ・部活をしていると普通科理数科の子との関わりがあって違う世界が広がるし、ストレス発散にもなるのでよいと思う。
- ・専門知識だけでなく、基礎学力をあげていく日々の努力も大切。患者さんと話をするネタ集めのためにも新聞を読むことも大切。
- ・できるだけ家事を手伝わせてあげてください。特に複数のおかずのある料理作り。段取りを組む工夫ができるようになる。その段取りの工夫で実習に差が出ると感じる。